



2019年11月8日

各 位

会 社 名 保土谷化学工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 松本 祐人
(コード番号 4112 東証1部)
問 合 せ 先 取締役兼専務執行役員
兼経営企画部長 砂田 栄一
(TEL 03-5299-8019)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表しました業績予想を、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2020年3月期通期 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2019年5月14日発表)	38,000	2,300	2,300	1,400	177.18
今回修正予想(B)	36,000	1,400	1,400	600	75.92
増減額(B-A)	▲2,000	▲900	▲900	▲800	
増減率(%)	▲5.3	▲39.1	▲39.1	▲57.1	
(参考)前期実績 (2019年3月期)	37,548	3,028	3,104	1,883	238.40

※上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 業績修正の理由

2019年度上期の売上高は前年比2%増の17,549百万円となりました。

しかし、原料価格の上昇等による売上原価の増加等により、営業利益は前年比28.1%減の811百万円、経常利益は同42.5%減の792百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同43.4%減の562百万円となりました。

2019年度下期につきましては、米中貿易摩擦や欧州経済の動向などの影響による世界的な経済減退の動きに加え、国内では消費税増税による消費意欲の縮小が懸念されることから、更に厳しい経済環境にあると予想されます。かかる状況下、当社の主力事業である自動車関連・スマホ関連等は、今後も厳しい環境を予想せざるをえない状況にあり、通期の業績も、2019年5月14日に発表した業績予想値を下回る見込みとなりました。

以 上